



代表質問通告書一覧（9月25日）


質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 (23番) 安井 宏一 (自由民主党)	<p>1 本県の地方創生について</p> <p>奈良県版の「総合戦略」の策定を通して、本県の地方創生の取組を今後、いかに進めようとしているのか。</p> <p>2 冬期の観光オフシーズン対策について</p> <p>県として、さらなる冬期の宿泊者の増加につなげるため、奈良の魅力を今後も広くアピールする必要があると考えるが、冬期のオフシーズンの観光振興について、県ではこれまでどのような取組を行い、また、今後どのような取組を展開するのか。</p> <p>3 県営プール跡地活用プロジェクトについて</p> <p>本県における一層の観光振興、とりわけ、奈良を滞在型観光地へと抜本的に変換させるためには、ホテルとコンベンション施設などの周辺施設が連携するよう整備することが重要であり、さらに、滞在型観光の拠点として、できるだけ早期のまちびらきが必要であると考えているが、県営プール跡地におけるホテルを核とする賑わいと交流の拠点整備に向けた現在の状況とコンベンション施設などの周辺施設整備を今後どのように取り組もうとしているのか。</p> <p>4 今後の本県の森林整備について</p> <p>林業不況の中、森林の持つ多面的な機能を将来にわたって持続的に発揮させていくために、今後、本県の森林整備をどのように進めていこうとしているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
(23番) 安井 宏一 (自由民主党)	<p>5 橿原公苑の活用について</p> <p>スポーツを通じたにぎわい拠点として、橿原公苑の役割がとても重要になってきており、橿原公苑の施設や周辺一帯のさらなる環境整備が必要であると考えているが、スポーツを通じたにぎわい拠点を目指して、橿原公苑をどのように活用しようとしているのか。</p>	知 事
	<p>6 女性の活躍促進について</p> <p>奈良県の将来を考えたときに、女性のさらなる活躍は、県政の最重要事項の一つであると考えている。県は、「女性の活躍促進会議」を開催し、課題や方策を検討しているが、奈良県の女性が輝くために、今後どのように取り組んでいくのか。</p>	知 事
	<p>7 公共交通基本計画の策定について</p> <p>公共交通基本計画の策定にあたっては、これまでの県の取組を活かしながら、奈良県公共交通条例の理念を反映したものにしてもらいたい。今年度中に策定予定の計画をどのような内容のものとするのか。また、計画の策定によって、今後、公共交通の確保にどのように取り組んでいくのか。</p>	知 事
	<p>8 奈良県教育をとりまく課題について</p> <p>全ての子どもが、学校に通えるようにすることが、何より重要なことであるが、本県における不登校児童生徒の現状はどのようになっているのか。また、県教育委員会としてどのような取組を行おうとしているのか。</p>	教 育 長

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(39番) 小泉 米造 (自民党奈良)</p>	<p>1 災害に強い奈良県を実現するための取組について</p> <p>(1) 昭和57年のような降雨やこの度の関東・東北豪雨のような大雨でも、県民の安全・安心が確保できるよう、大和川流域総合治水対策の着実な進捗を望むものである。大和川流域総合治水対策の取組について、これまでの状況と今後の方針を改めて伺いたい。</p> <p>(2) 豪雨災害の被害を最小限にとどめるには、市町村による確かな避難勧告等の発令や伝達とともに、県民が自らの命は自らで守る「自助」の意識を高めることが重要と考える。豪雨災害から県民の命を守り、被害を最小限に抑えるために、県は市町村や県民に対してどのような取組を行っていこうと考えているのか。</p> <p>2 奈良公園の魅力向上に向けた取組について</p> <p>(1) (仮称)登大路ターミナルについては、奈良公園に来ていただいた観光客をお迎えするという「おもてなし」が大変重要と考えるが、どのように整備を進めていこうと考えているのか。</p> <p>(2) 若草山の移動支援として、県は奈良奥山ドライブウェイにぐるっとバスを走らせることを検討していくと聞いているが、その前提として、若草山のにぎわいづくりについての県の考え方を明らかにする必要があると考える。若草山のにぎわいづくりについて、知事はどのように考えているのか。</p> <p>(3) 今議会で高畑町裁判所跡地における整備を進めるための計画策定などの補正予算案が提案されているが、今後、この土地をどのように活用しようと考えているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(39番) 小泉 米造 (自民党奈良)</p>	<p>3 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) 名古屋・大阪間の環境影響評価の実施について、JR東海はどのような考えを持っているのか。また、この環境影響評価の早期実現に向け、今後、県としてどのように取り組んでいくのか。さらに、駅位置の早期確定のためには、JR東海が環境影響評価に着手しなくても、県内の駅の候補地を一つに絞り、県全体で一丸となって要望活動を行っていくことが必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 車両基地の誘致は、県内雇用の増加や従業員の定住化、関連企業の立地など、経済波及効果が期待できることに加え、三重・奈良ルートを確定する際の重要な要素にもなると考える。今後、本県がリニア中央新幹線の建設促進に取り組む際には、新たに車両基地の誘致を要望項目として掲げ、積極的に要望活動を行ってはどうか。</p> <p>(3) 大阪までの全線同時開業を実現するため、リニア中央新幹線の建設主体として国から指名されたJR東海とは別に、特定目的会社を立ち上げ、建設資金を集め、その特定目的会社を主体としてリニア中央新幹線の建設を進めてはどうかという声もあるが、このような動きに対しての知事の考えを伺いたい。</p>	<p>知 事</p>
	<p>4 近鉄郡山駅周辺地区のまちづくりについて</p> <p>安全で賑わいの拠点となるような駅の整備とともに、既存の商店街も快適に利用できる駅前づくりが必要と考えるが、近鉄郡山駅周辺地区のまちづくりについて、具体的にどのような将来像を描こうとしているのか。また、この将来像の実現に向け、どのように進めていこうと考えているのか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(39番) 小泉 米造 (自民党奈良)</p>	<p>5 地域医療構想の策定について</p> <p>2025年の必要病床数が全国で最大20万床削減されるという国の推計結果もあるが、県では、今年度策定に取り組んでいる地域医療構想において、高齢化の実情に応じた適正な医療提供体制の構築をどのように進めていくのか。</p> <p>6 スイス・ベルン州との友好提携における林業分野の取組について</p> <p>南部・東部地域の振興のためには、林業の振興や適切な森林管理は、避けて通ることのできない課題と考える。スイス・ベルン州との友好提携における林業分野の取組を通して、林業や森林管理をどのように進めていこうと考えているのか。</p> <p>7 子供の安全・安心の確保について</p> <p>(1) 子供の安全を脅かす事案を防ぐためには、犯罪を起こさせない環境づくりと防犯カメラの設置などの対策が必要と考える。子供の安全・安心の確保に向け、警察として、どのように考え、どのように取り組んでいるのか。また、地域住民や自治体が行う防犯活動に対して、どのような支援をしているのか。</p> <p>(2) 子供が事件や事故に巻き込まれないために、安全に関する子供への指導、保護者への啓発や家庭でのしつけ等について、学校でどのような取組をしているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>警察本部長</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(42番) 今井 光子 (日本共産党)</p>	<p>1 平和安全法制について</p> <p>6月県議会での平和安全法制に係る太田敦議員の質問に対し、知事は「自身の考えを述べるのは適切でない」と答弁されたが、大事な問題に自身の意見を述べないことは、戦後民主主義の下での知事の態度ではないと思う。あらためて、平和安全法制に対する知事の考えを伺いたい。</p> <p>2 陸上自衛隊駐屯地の誘致について</p> <p>全国の基地周辺地域は、基地があるがゆえに戦争に巻き込まれる恐れや、事故発生危険性が高くなっているが、県では、陸上自衛隊駐屯地誘致にあたり、このようなリスクをどのように検討されたのか。奈良県に陸上自衛隊の駐屯地は必要ないと考えるがどうか。</p> <p>3 消防学校を中核とした広域防災拠点の整備について</p> <p>自衛隊の駐屯地にかかわりなく、消防学校を中核とした広域防災拠点を早急に整備すべきと考えるがどうか。</p> <p>4 奈良モデルについて</p> <p>奈良モデルのあり方として、県は各市町村に対して地方自治の精神にのっとり、住民が主人公を原則にしてどの市町村にも公平公正に支援をするべきと考えるがどうか。</p> <p>5 災害に強い奈良県づくりについて</p> <p>災害に強い奈良県づくりを進めるためにも、県として、流域市町村と連携して防災調整池の設置基準を見直すことが必要と考えるが、知事の所見を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(42番) 今井 光子 (日本共産党)</p>	<p>6 子どもの医療の窓口負担の無料化について</p> <p>全国知事会などの地方の声を受けて、国では、国民健康保険の国庫負担金の減額措置の見直しについてどのような検討がなされているのか。また、国の検討状況に関わらず、県として医療機関での窓口負担の無料化を実施するべきと考えるがどうか。</p> <p>7 奈良県の主要地場産業である靴下産業の振興について</p> <p>靴下のイメージアップを図ることが、靴下の販路拡大に繋がるのではないかと考えるが、本県の主要地場産業である靴下の販路拡大に向けて、県ではどのように取り組まれるのか。</p> <p>8 マイナンバー制度について</p> <p>国民の支持や理解が広がらない制度を急ぐ必要はないと考えるが、県は、マイナンバー制度の安全な運用についてどのように考えているのか、また現在どのような取組をしているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>産業・雇用振興 部 長</p> <p>知 事</p>